

## ◀ 画像ページの見かた ▶

- 各章は部位によって分類されています
- 左ページには正常画像を並べ、主な解剖部位の名称を列挙しました

### 左ページ：正常画像

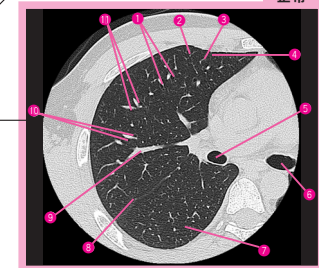
★章タイトル(部位)

第2章 肺野の限局性を主体とする疾患  
01 異型腺腫様過形成 (AAH : atypical adenomatous hyperplasia) 正常

★疾患名

★正常画像

★解剖部位の名称  
(画像上の番号と対応)



- 1 B<sup>2</sup>b
- 2 肺静脈 (pulmonary vein)
- 3 肺動脈 (pulmonary artery)
- 4 小葉間隔壁 (interlobular septa)
- 5 中間幹 (bronchus intermedius)
- 6 左主気管支 (left main bronchus)
- 7 S<sup>+</sup>
- 8 大葉間裂 (major fissure)
- 9 V<sup>+</sup>
- 10 B<sup>2</sup>b
- 11 B<sup>2</sup>a

92 正常画像と並べてわかる 胸部CT・MRI

2枚の画像を見開いて比べるから、  
どこがなぜ異常なのかすぐにわかる!

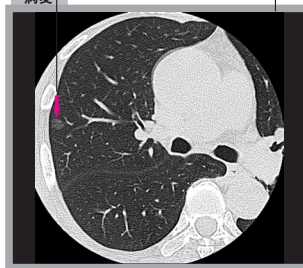
こちらの画像ページの構成が適用されているのは第2章以降となります。

- 右ページには左頁と同じような断面で、病変のある画像を並べ、病変部位を矢印や矢頭で示しています。インデックスは疾患分類を示しています

### 右ページ：病変のある画像

★病変のある画像

★病変の位置  
(←や→で指示)



**所見** 58歳女性。無症状。CTで偶然発見された。径約5 mmの内部濃度均一な限局性すりガラス陰影\* (focal ground-glass attenuation (opacity) (GGA (GGO))) を認める (→)。13カ月間の経過観察で変化はなかった。II型肺胞上皮細胞の過形成や肺胞壁の肥厚を反映した所見である。前癌状態とも考えられている。

限局性すりガラス陰影\*

★疾患分類の  
インデックス

- CT
- 腫瘍
- 炎症・感染性
- びまん性
- 血管病変
- 気道系
- 外傷
- 肺腫瘍
- 免疫活性性
- その他

★所見のポイント

第2章 ● 肺野の限局性を主体とする疾患 93

★重要語句には\*印がついており、巻末に用語解説あり